

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室  
 TEL:03-5235-8111 内線 42353  
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

## リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 19年 10月 11日

|                                  |   |         |                |
|----------------------------------|---|---------|----------------|
| リコール届出番号                         | 1946  | リコール開始日 | 平成 19年 10月 11日 |
| 届出者の氏名又は名称                       | 日工ダイヤクリート株式会社<br>代表取締役 川上晃一<br>問い合わせ先:日工ダイヤクリート(株)<br>技術部 AS・生産管理G<br>TEL (0832) 49-2650  |         |                |
| 不具合の部位(部品名)                      | 動力分配装置(トランスファ取付金具)  |         |                |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | コンクリート作業車に架装した車両において、動力分配装置(トランスファ)取付金具の強度が不足しているため、コンクリート打設作業時の負荷により当該取付金具に亀裂が発生する可能性がある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進展し、最悪の場合、走行中に取付金具が破損してトランスファが脱落し、走行不能となるおそれがある。  |         |                |
| 改善措置の内容                          | 全車両、トランスファ取付金具を対策品と交換するとともに、緩衝ゴムも新品と取り換える。  |         |                |
| 不具合件数                            | 5件  | 事故の有無   | 無し             |
| 発見の動機                            | 市場からの情報による。   |         |                |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者及び使用者をすべて把握しており、ダイレクトメール又は直接訪問等で連絡する。</li> <li>・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているため周知のための措置はとらない。</li> <li>・対策実施済み車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にステッカー(NO.1946)を貼付ける。</li> </ul> |         |                |

| 車名 | 型式          | 通称名    | リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間                            | リコール対象車の台数 | 備考                |
|----|-------------|--------|--|------------|-------------------|
| 三菱 | KC-FP515JX改 | ふそう    | FP515JX-500085～FP515JX-500060<br>平成10年 6月 3日～平成12年 6月27日 | 39台        | ダイヤクリートコンクリートポンプ車 |
|    | KL-FP50KJX改 |        | FP50KJX-520007～FP50KJX-530037<br>平成12年 8月21日～平成17年 5月 2日 | 63台        |                   |
|    | PJ-FP50JX改  |        | FP50JX-540028～FP50JX-540044<br>平成18年 5月 16日～平成19年 5月 7日  | 8台         |                   |
|    | (計3型式)      | (計1車種) | (製作期間の全体の範囲)<br>平成 10年 6月 3日～平成19年 5月 7日                 | 計 110台     |                   |

### 【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。